

主な質疑

◎第467回臨時会



藤丸高德 議員

平成26年度の災害が、早く工事発注できなかった理由は。



小林雅文 産業建設課長

施工方法（地滑り判定等）を決定する調査に不測の日数を要したためである。

◎第468回定例会

●平成28年度大豊町一般会計補正予算（第4回）



前野由和 議員

総務管理費の中で、地方創生費にはそぐわないということで、1018万2千円の減額の補正がされている。項目としては乗合タクシーや通院タクシーが入っているが、その説明を。



田坂仁志 副町長

地方創生の中には、交通弱者対策等もあると考え要望していたが、不採択となった。この計画は3年間であるので引き続き次年度に、復活できるような国に求めていく。



今井達也 住民課長

額、システム導入の経費の負担割合は。

100%国の負担である。

藤丸高德議員

町道等の路面舗装について、生コンクリート20立方メートル以内の支給は、毎年要望もあると思

前野由和議員

臨時福祉給付金の給付



町道のコンクリート舗装

うが数量を増やすことはできないのか。

小林雅文産業建設課長 現在、20立方メートル以内の支給であるが、これを引き上げること検討している。ただし、農林道については、引き上げることによって地元の負担も増加することになる。

藤丸高德議員

町内全ての集会所について、耐震化していく計



集会所の耐震工事中

画はあるのか。



宮内伸彦 総務課長

地域集会所耐震改修事業は、本年度から取り組みを始めたばかりの段階である。今後、各地域の方々と相談をし、できるだけ多くの集会所について耐震化を図りたい。

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任

（賛成・全員）



大豊町庵谷313番地 溝渌 睦水

副町長の選任

（賛成・全員）



大豊町川口 好永 公一

任期

平成29年1月17日、平成33年1月16日

副町長就任挨拶

ただいまは選任同意をいただき、身の引き締ま

る思いとその責任の重さを感じているところでございます。

政治の世界には「一寸先は闇だ」という言葉がございます。激動する時代にはこの言葉は政治の世界の専売特許ではなく、イギリスのEU離脱、アメリカ大統領選挙におけるトランプ氏の当選等に見られるように先行き不透明な、時代を読み解けない時代となってまいりました。このような時代だからこそ、町民が心をひとつにして、艱難に立ち向かわなければなりません。

本町は、昨年の国勢調査で4千人を切りました。昭和30年4村合併当時から、思いも寄らぬことごとございます。

私は、財政破綻の危機にあった12年前の就任時に「結い」の心をもって大豊再生に向けてご協力をお願いを申し上げました。改めて、この旗の下に一致結束することをお願い申し上げます。思っております。

町民の皆様から負託を受けました町長の政策につきましても、厳しい財政状況下でありながらも財政再建、高知おとよ製材、丸和林業、さらにはコーラス大豊ウインドファームの誘致、大豊版飲料水供給施設の整備など歩みは遅いかもありませんが、少しずつ具現化しております。

しかし、人口減少は直ちに財政面等に影響をもたらします。これに加え、高齢化、生活・教育環境の整備、老朽化した庁舎の問題、情報通信機器の更新等、本町独自の課題

町道のコンクリート舗装

問 岩崎町政4期目を問う

選挙結果への受け止め方は

結果を真摯に受け止める

前野由和議員

12年目にして選挙となり、一定期間政策論争がなされたが、林業施策に対しては、手広くやり過ぎていたのではないかと、町内外からの声が上がっている。慎重に

だけでなく、全国の自治体が抱えているあまたの問題を包含しております。

このような問題を解消するとともに、常に、実質公債比率等の財政状況を考慮しながら今期の町長の公約である林業行政の一層の推進、高校生までの医療費の無料化、保育料補助の拡大等の実現に向けて町長を支え、粉砕身頑張るつもりです。

このように問題を解消するとともに、常に、実質公債比率等の財政状況を考慮しながら今期の町長の公約である林業行政の一層の推進、高校生までの医療費の無料化、保育料補助の拡大等の実現に向けて町長を支え、粉砕身頑張るつもりです。

問 子育て支援の拡充を

施策の充実を図る

前野由和議員

高校生までの医療費を無料化するとの施策を歓迎する。国は過剰受診になり、医療費が多くなる

岩崎憲郎町長 要望に応えるべく耳を傾けていく。

前野由和議員 議会と町長との、あるべき関係についても考えなければいけない機会となった。車の両輪として、目指すところは住民の福祉を増進することにあるのでは。

岩崎憲郎町長 両者、住民の代表であるということが根本にある。議会と協議しながら、より住民要望に沿えるように取り組む。協力を願う。

う意見、要望書が上がっている。国も一定の改善を示唆してきたが最新の情報はあるか。

岩崎憲郎町長

地方団体それぞれで全廃を求めている。要請に